



## 感謝の心

天津市・天津外国語大学附属外国語学校 高1（女）

馬 瑀譔

私たちは生まれてから、どれぐらい「ありがとう」と言ったのか数えきれません。しかし、ほんとうに心から他人に感謝していますか。いつも感謝の心を持っていますか。でも、そうとは限りません。

「ありがとう」はもう口癖だけになったのかもしれませんが。少なくとも、私はその一人だと思います。例えば、母親は世の中で私が一番感謝すべき人ですが、でも、私はほんとうに心から母親に感謝しているのでしょうか。

中学卒業試験が終わって、私は旅行に行きたくてたまりませんでした。何度も両親にせがみました。とうとう、母は「行きたくない人はいるの？ 時間さえあれば行きたいわよ。でも、そんなに簡単に休暇が取れると思うの？」と怒りました。「ずっと勉強ばかりしてきたのよ。やっと試験でいい成績を取ったのにどこへもつれていってくれないの！」と母に言い返しました。「いい成績を取ったのは当たり前なことじゃない？」「そう、そう。悪い成績を取ったのは私のせいで、いい成績を取ったのは母ちゃんのおかげです。」と言って、母と争いました。母も大変怒りました。その後、私は母に不満を持って、母と冷戦状態になりました。

そんなある日、友達に家族の写真を見せた時に、たまたま母が撮った旅行の写真をを見つけました。旅行中の母の笑顔は本当に幸せだったと思います。母は旅行が大好きだったのです。私を生む前に、いろいろな所へ旅行に行きました。家族に反対されても、ひそかに行ったそうです。でも、私を生んでから、母はあまり旅行はしなくなりました。仕事が忙しいし、私の世話をするし、暇がないからです。私は三年も旅行しませんでした。母も同じです。しかし、私は母の苦勞と我慢がよく分かりませんでした。母に感謝しないで、母と言い争いました。私はほんとうに感謝の心がなかったと思います。母の苦勞を無視してきました。

私の成長とともに、母も「成長」しています。私はずっと気づかなかったのです。

私の成長は喜ぶことですが、今、母の「成長」を思い出したら、悲しくなっています。

母は以前、料理が作れませんでした。ご飯はいつも外で買いました。まずはなかったのですが、母の手料理が食べたかったです。ある日、祖母は「成長期の子供は栄養のバランスに気をつけなくちゃ。」と母に言いました。それを聞いて、母は料理の本をたくさん買ってきて料理を作り始めました。何度も手に油がはねあがりました。何度も失敗しました。やっと料理が作れるようになりました。今、母は毎日栄養のバランスがよくて、おいしい料理を作ってくれます。しかし、私は母がおいしい料理を作ってくれるのは当たり前なことだと思いました。

母の変化はもう一つあります。以前、母はおしゃれな人でした。今、母はよく私にきれいな服を買ってくれますが、自分は安いものばかり着ています。最近よく私の小さくなった服を着ています。「なぜこれを着ているの？ 全然きれいじゃないよ。」と母に言いました。「着られるだけで結構よ。あなたはこれから留学とか結婚とかいろいろあるから、お金は大切にしくちゃ。」母はいつも私のことを一番にしています。しかし、私は以前母の変化に気付かませんでしたから、一度も心から母に感謝しませんでした。

先日、テレビで「お父さん、どこへ連れて行くの」という番組を見ました。朝食は少ししかありません。父親は全部子供にあげました。子供は「お父さん、おなかすいてないの。」と聞きましたが、父親は「うん、父さんは少し食べればいから。もうおなかいっぱい。」と答えました。それを見て、泣けました。親の愛はどんなに分かりやすく暖かいものでしょう。

母も同じです。若い時、母はおいしい料理が好きでした。いいえ、今も好きでしょう。しかし、今は好きなものでも「こんなもの好きじゃない、譚ちゃん食べて、もっと食べて。」と私にすすめます。なぜでしょうか。ほんとうに好きじゃないのでしょうか。母は私のためによくそをつきました。中でも「好きじゃない」が一番よくついたらうそです。母が食べ物を私のお茶わんに入れる時、私は母の白い髪を見つけました。

母は、もう年を取りました。

私が1歳伸びて、母の髪が1本白くなります。母は自分の青春と私の青春を取り

替えたようです。母は私のせいで年を取ったのです。

私は母に感謝するのを忘れてしまいました。それはいけません。母は私のために、自分の好きなことをたくさん我慢してきましたから、母に感謝したいです。母は私のために、いろいろなことを習いましたから、母に感謝したいです。母は私のために、髪がだんだん白くなりましたから、母に感謝したいです。

私たちはよく「感謝の心を持ちましょう。」と言いますが、でも、一番感謝すべき母にも心から感謝できなかったら、それは空論でしょう。誰の愛も当たり前のものではないと思います。母の愛もそうです。感謝の心を持つには、まず母親に感謝しなければなりません。このことさえできたら、他人の愛もよく分かるはずでしょう。すべての愛を大切に、よく感謝の心を持ちましょう。